

嘘のような本当の話（10）

生涯かけて苦勞して収集した切手コレクション“あの世まで一緒に”と願う気持ちは当然ですが、現実には「王室コレクション」「切手博物館」に納めない限り存続は難しいと思います。そこで我々の様なディーラーの役割として「次なる主に引き継ぐ」という事がテーマになります。手段は「オークション」「リセール」といった選択肢がある訳ですが、昨年秋頃から“アルバムを閉じられる”収集家が重なり、弊社の倉庫には1000冊を超えるアルバムが「次なる主」を求めて鎮座しています。

日本専門収集、日本ゼネラル、クラシックからモダンまで外国国別、外国テーマチック…私が収集家ならにやにやしなながら倉庫に入り浸れるのですが、立場上そんな訳にはいきません。自前オークション、ヤフーオークション等々手段を駆使して数年かけて取り組んで行きたいと思っています。また、ウォントリストもお待ちしております。

金坂 忠彦

